

2002 (平成 14) 年

※1 ガーナ大学 (ガーナ) と学術交流協定締結。

※同 生物資源科学部本館竣工。

1. 12~14 第 10 回スキー交流会と海野宿の旅 於：経済学部菅平研修所、参加 48 名

1. 19 高校部会

1. 26 新春討論集会、新春のつどい

2. 20 「組合報」第 185 号記事

「21 世紀の日本大学づくりのために—2002 年新春討論会の報告—」

『組合事務所』移転のお知らせ 組合事務所が入所していた「櫻門ビル」(千代田区三崎町 2 の 2 の 3) が、通信教育部の改築に伴って取り壊されることになったことから、「3 月中旬」に同事務所が仮事務所として「山本ビル 4 階」(同区西神田 1-3-6)に移転することになった旨のお知らせ (なお、実際の転居は、3 月 20 日)。

「2002 年度春闘・一時金アンケート実施中」執行委員長 塩沢南海治「組合加入の訴え 執行委員長メッセージ」「私たちの手で 21 世紀の日大づくりを進めましょう」

櫻丘高校支部 品川利幸「第 10 回『スキー交流会と海野宿の旅』」

2. 23 高校部会

3. 6 退職者慰労会 於：私学会館

3. 21 事務所移転、前掲、2 月 20 日付「組合報」第 185 号の記事を参照。

3. 23 船橋支部主催「学生の授業評価」シンポ

※4 文学部独文学科をドイツ文学科、大学院文学研究科独文学専攻 (博士前期・後期課程) をドイツ文学専攻 (博士前期・後期課程) に名称変更。

※同 大学院工学研究科電気工学専攻 (博士前期・後期課程) を電気電子工学専攻に名称変更。

※同 工学部「次世代工学技術研究センター」竣工。

4. 16 高校部会

※4. 6 公立の小・中・高校が完全週 5 日制に。

※5 経済学部 7 号館竣工。

5. 7 春闘第 3 回団交、詳細不明なるも、このとき一時金については妥結か。「組合報」第 187 号、4 ページによれば、その妥結条件は、6. 58 ヶ月十一律 38, 000 円。

5. 18 豊山高校支部討論集会 高校部会

6. 22 高校部会

7. 1 「組合報」第 186 号記事

「次期総長に対するの公開質問状と回答」日本大学教職員組合執行委員長 塩沢南海治「公開質問状」「日本大学次期総長 瀬在幸安氏の回答」

7. 9 「組合報」第 187 号 (第 40 回定期総会議案号) 記事

「私立大学の社会的使命と教職員組合の社会的役割と責任を自覚して国民に期待される教育・研究・医療をいまこそ築こう —2002 年度活動方針 (案) —」

「書記局日誌」

「日本大学教職員組合 2002 年度予算 (案) (2002. 05. 01~2003. 4. 30)」

「日本大学教職員組合 2001 年度決算 39 期 (2001. 5. 01~2002. 4. 30)」

7. 13 第 40 回定期総会 於：経済学部本館 2 階大会議室 橘貞雄 (文理) 執行委員長選出

2002 年度活動方針「21 世紀の日本大学をつくる」提言委員会活動の報告

2001 年度決算報告および会計監査報告、2002 年度予算決定

※9 総長に瀬在幸安就任 (再任)。

※同 理事長に森田賢治就任 (再任)。

※同 大学院グローバル・ビジネス研究科 (修士課程) 1 年生コース設置。

12. 12 医学部支部、医療職員の違法な宿日直について改善を要求、病院として本部に希望を出す」と回答あり。

※12 主婦の友社から「御茶の水スクエア」を取得。

※同 ウェスタンミシガン大学 (アメリカ合衆国) と学術交流協定締結。

※同 国立中興大学 (台湾) と学術交流協定締結。